

秋田大学COC事業ミニフォーラム2017 in 潟上／潟上市 市民防災研修会 アンケート集計結果

実施日 平成29年12月 3日

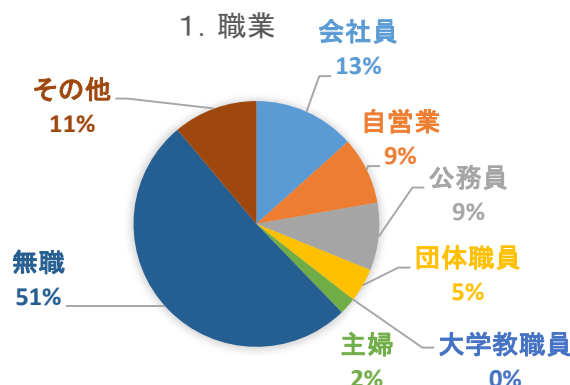
会場 潟上市役所4階大会議室

アンケート回収数45枚／資料配布数59部＝回収率76.3%

1. あなたの職業について

(人)

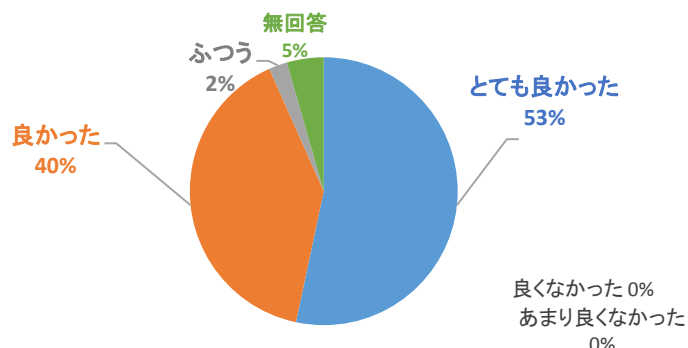
会社員	6
自営業	4
公務員	4
団体職員	2
大学教職員	0
主婦	1
無職	23
その他	5



2. 本日のミニフォーラム／研修会はいかがでしたか。

とても良かった	24
良かった	18
ふつう	1
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
無回答	2

2. 本日のミニフォーラム／研修会はいかがでしたか



3. 本日の研修会について、感想をご自由にお書きください。

早速自治会にて一人ひとりの支援計画を作りたいと思います。

防災は個人の意識が大事だと言うことがとてもよくわかりました。備えることは大事です。自分のところは大丈夫だと思わず備えたいです。行政として出来ることは何もかも自分で考えてみたいです。まずはこういった場に参加する機会を増やしたいです。

大変参考になった。

常に備えあれば憂いなしの気持ちが大事。再確認のために非常に良かったフォーラムでした。

これまでは地震を主体としたフォーラムであったが、今回は大雨災害を取り上げていただき大変参考になった。潟上市も低平地がほとんどであるが、最近では河川に限らず小水路周辺の冠水も見受けられる。行政でも災害対策の根本に据えるべきと思う。勿論、自治会も同様である。

潟上市は今まで災害がほぼなく、身近に感じる事がなかった。地域の活性も含め、地域の人たちと今一度、防災について考えてみようと思いました。
職員としても大変勉強になりました。より多くの市民や職員も参加できればいいと感じました。
行政で出来る限りのことを想定して準備しておかなければならないですが、重要なのは自治会、住民と連携して意識を高めていけるかということを再確認しました。
学生の皆さんの発表を聞いたのが良かった。
避難指示や避難準備情報などの言葉の意味を、市民にしっかり周知することが大切と感じた。広報で毎月小さなスペースを作ってお知らせしても良いのではないかなと思う。検討したい。
町内会による防災組織の必要性を深く感じました。機材及び避難に一つでも作ろうと思います。
そのとおりと再実感した。
始めから終わりまですごわかりやすくよいお話でした。私の町内会に対して考えるとすれば年輩の方々の取り組みです。帰ったら考えて実行したいと思います。
山崎氏の講演が役立つように思った。
最近の大雨と対策についての講演がすばらしかった。元 NHKに在職した経験を話して下さり、非常に参考になった！！
自主防災の多様性について、大変役に立つと思いました。
最近の大雨災害について、山崎登教授の講演がとてもわかりやすく又自分なりに関心を持ちました。災害、情報、防災と注意報、警報等、情報を防災に生かせるかが防災対策。
・山崎先生の話ははじめて聞いた。地震対策や津波対策は避難訓練もするけれど、大雨対策は遅れているように思います。 ・鎌滝先生、過去の災害を風化させないためには、何が必要か記録に残していくことが必要である。50年～100年経てば忘れる。
・強雨について大変参考になりました。 ・自主防の必要性、自己防災マップの作成
大変勉強になりました。
具体的な地域の自主防災マップ(津波想定)づくりが大切と感じた、難しいことであるが、最初は簡単なことから徐々にレベルを上げる等して。
災害は忘れた頃にやってくる。地域に関心を持って行動するよう努めるように感じた。
自分の自治会内に防災組織について考えていきたいと思いました。
・山崎教授の講演は最近の事例により大変よく理解できた。 ・鎌滝先生の講演は潟上市における取り組みについて理解を深めることができた。
避難勧告と指示の違いが良くわかった。
・防災マップを各自で作成するようにしたい。 ・地域の防災マップ作成したい。
地球温暖化により異常気象の時代に入っている。各地域の自主防災会活動のさらなる重要性を痛感した。
日頃関心持っていますが、具体的に話を聞いてみて大変参考になりました。災害が年毎に大きくなって来ているようになっていきますので、対応できるよう充分心掛けて地域全体で考えることにしたいと思います。
ためになりました。地元でも活用していきたい。

山崎先生のお話は非常に参考になった(努力しないと地域を知れない時代etc...)。今回の話を自分の住む秋田市に反映したい。

大雨、津波といった異なる種類の災害であったが、国や自治体だけが防災に意識を向けるのではなく、個人の取り組みの大切さ、また、具体的な取り組み例により防災の意識を改めることができた。

4. 地域の防災・減災について、秋田県、潟上市、秋田大学(COC事業も含め)に期待することはありますか。

潟上市の方には、防災対策をちゃんと考えているということをしっかり発信していただきたいです。情報は伝えなければだめだとわかりましたので、努力していきたいです。学生の方にはもっと研究をがんばっていただいて、日本一の防災県といわれるようにどうすればいいかぜひ教えていただきたいです。

情報の拡大として段階を細かにしない指示を期待する。

潟上市における地震・津波の研究調査は、相当の段階にあると思います。これからは低い自主防災組織の組織化(率)を上げることは最大の課題だと思います。併せて自主防災と介護(高齢化)を連携させた取り組みなどにより、より身近な体制設備が具現できると思います。単に防災対策のみならず、行政の考えられる広角な認識を持って対応していただきたい。市や大学にはこのことを踏まえて研究してもらいたい。

地域の防災マップを作ってみようと思った。その時は力を借りることになるかもしれないのでよろしくお願いしたい。

防災に関するワークショップがより活発になればいいと思いました。

潟上市の防災放送が聞き取りづらい家があります。追分西の自治体ですが。

防災マップ(自宅も)づくり、大事なことを再確認した。

潟上市にどんどん講演をやってほしい！！

大雨による洪水他災害想定。

私の住んでいる江川地域は(大津波の場合)避難所まで時間的に20～30分必要。冬期の場合高齢者や介護必要者は大変。避難タワー設置は財政上問題ありとうかがっている。地域内近くにせめて土を盛った盛土場所を設置造成等は考えられないか。

避難場所、避難経路の表示が必要と思われる。

訓練実施に補助金をつけてほしい。

潟上市、秋田大学のさらなる連携により、防災対策の進展に期待しております。

防災の研修会を地域で小単位でも開催できればよいと考えます。市へのお願いです。

潟上市 & 秋大、今回を踏襲したシンポジウム。